



© 2024 Yamaha Corporation
2024 年 12 月 発行 MWTO-A0



VHX1980

TORCH T01クイックガイド

兼保証書

ヤマハ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、鍵盤や外装が木材由来の素材で作られた電子ピアノです。木のぬくもりを感じながら、演奏したり曲を聴いたりしてお楽しみください。ご使用前に、必ず本書と別紙「セーフティーガイド」をよくお読みください。本書とセーフティーガイドは、お読みになったあとも、いつでも見られるところに大切に保管してください。

付属品（お確かめください）*各1個

- ☐ クイックガイド(本書) ☐ セーフティーガイド ☐ 製品登録のご案内 ☐ 譜面立て ☐ 椅子
☐ ペダルユニット ☐ 電源コード/電源アダプター (PA-300C)

説明書について



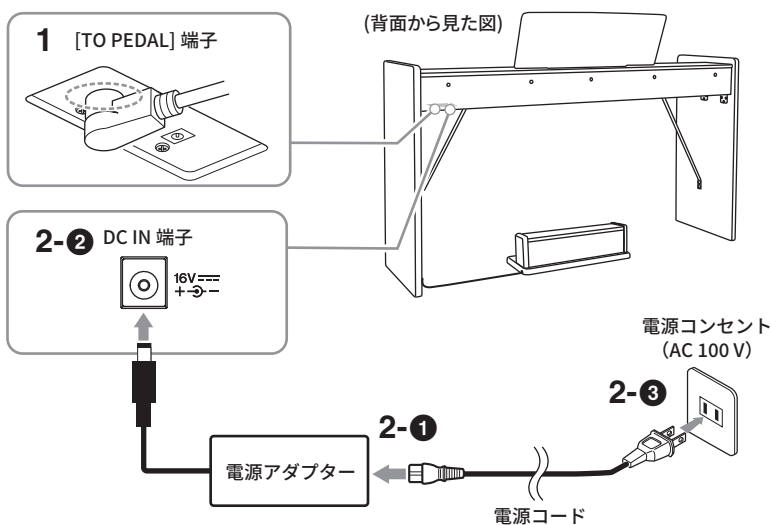
ユーザーガイド

本製品には、クイックガイドとセーフティーガイドのほか、以下の説明書があります。

- ユーザーガイド
- 鍵盤操作早見表
- MIDIリファレンス
- スマートピアニスト ユーザーガイド

ウェブサイト上のユーザーガイドからすべての説明書をご覧になれます。
<https://manual.yamaha.com/mi/rt/t01/>

ご使用前の準備



1. ペダルユニットを接続する

[TO PEDAL] 端子にペダルユニットのプラグを差し込みます。[TO PEDAL] 端子の横にあるイラストが示す向きに合わせて、プラグの金具部分が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

ご注意

プラグの向きを間違えないようにご注意ください。間違った向きで無理に差し込もうとすると故障の原因になります。

NOTE

プラグの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。

2. 電源アダプターを接続する

DC IN 端子に、図の順序で、電源アダプター / 電源コードを接続します。

⚠ 警告

- 電源アダプター / 電源コードは、必ず付属のものをご使用ください。また、付属の電源アダプター / 電源コードをほかの製品に使用しないでください。故障、発熱、火災などの原因になります。
- 本体はコンセントの近くに設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

NOTE

- 電源アダプター / 電源コードを外すときは、電源を切ってから、逆の手順で行ってください。
- [TO PEDAL] 端子近くの板にコードホルダーがあり、ペダルユニットや電源アダプターのコードを留めておけます。



コードホルダー

3. 電源を入れる

3-① 鍵盤右側にある [m] (音量) つまみを左いっぱいに戻して、音量を最小にします。

3-② [⏻] (スタンバイ/オン) スイッチを押して電源を入れます。

電源が入ると、電源ランプが点灯します。音量は鍵盤を弾いて確かめながら、徐々に上げてください。

ご注意

電源を入れるときは、[⏻] (スタンバイ/オン) スイッチ以外は操作 (鍵盤やボタンを押す、ペダルを踏むなど) しないでください。楽器が誤動作する原因になります。

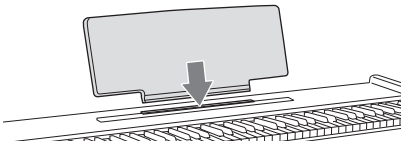
使用後は、[⏻] (スタンバイ/オン) スイッチを1秒ほど押して電源を切ります。楽器を操作せずに15分が経過すると、電源は自動的に切れます。この機能 (オートパワーオフ) は無効にすることもできます (裏面 ⑬ 参照)。

⚠ 警告

電源を切った状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

譜面立てを取り付ける

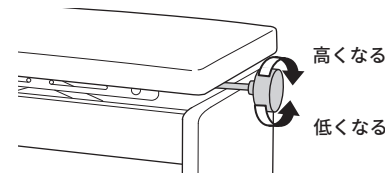
譜面立ての溝を手前に向け、本体上部のスリットに差し込みます。



外すときは、手前に起こしてから持ち上げます。

椅子の高さを調節する

ハンドルを回して座面の高さを調節します。時計回りに回すと高く、反時計回りに回すと低くなります。



高くなる

低くなる

保証とアフターサービス

サービスのご依頼やお問い合わせは、お買い上げの販売店、またはこのクイックガイド (以下本書) に記載の修理ご相談センターにご連絡ください。

本書は、保証書の役割を兼ねています。購入を証明する書類 (領収書や納品書など、製品名、品番、お買い上げ日、販売店名が記載されたもの) とあわせて、大切に保管してください。保証期間内に万一本製品が故障した場合には、購入を証明する書類をご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。

下記の保証規定に基づいて無料修理を行うことをお約束します。

[出張修理]

製品名	電子ピアノ	品番	T01	製造番号	
お買い上げ日	年 月 日				
保証期間	(お買い上げ日から) 1年間				
販売店名					

保証規定

保証期間中、正常なご使用状態のもとで万一発生した故障につきましては、本保証規定に基づき無料修理いたします。

■ 保証期間中でも以下の場合には有料となります。

- 購入を証明する書類 (領収書や納品書など、製品名、品番、お買い上げ日、販売店名が記載されたもの) のご提示がない場合
- 納品後、輸送や修理時の取り扱いが適当でないために生じた故障の場合
- 提供されている各説明書や本規定に記載の注意事項に反する取り扱いによって発生した故障の場合
- 故障の原因が本製品以外の機器にある場合
- 塗装面、金属面および木質素材 (外装・鍵盤) が、使用環境により風合いの範疇を越えて著しく退色、変色した場合
- 弊社認定の修理サービス技術者以外の者が修理 / 改造した部分で、その修理 / 改造が不適当であった場合
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災および公害や電圧異状による故障の場合
- 鼠害、塩害等による故障、損傷の場合

■ 転居・譲渡等を伴う場合、その他注意事項

- 転居、ご贈答品等で、お買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、修理ご相談センターにご相談ください。
- 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行う場合の交通費は実費を申し受けます。
- 保証期間内に、本製品を他人に譲渡あるいは転売された場合でも、残存期間は保証いたします。
- 本保証内容は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only within Japan.)

この保証内容は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。本規定によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにお問い合わせください。

● 保証期間経過後の修理

修理が可能な場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。有寿命部品については、使用時間或使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターにご相談ください。

有寿命部品の例:

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパッドなど

● 修理のご依頼

まずユーザーガイドに記載の「困ったときは」をよく読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または修理ご相談センターへご連絡ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、品番などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

販売元: 株式会社ヤマハミュージックジャパン

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい5丁目1番2号 横浜シンフォステージ ウェストタワー

* 名称、住所は変更になる場合があります。

修理に関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記の修理ご相談センターへご連絡ください。

* 修理をご依頼いただくときは、製品名、品番などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理ご相談センター

フリーダイヤル



0120-149-808

携帯電話、IP電話からは **050-3852-4106**

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00

(祝日、センター指定休日を除く)

FAX

● 東日本 (北海道 / 東北 / 関東 / 甲信越 / 東海): 03-5762-2125

● 西日本 (北陸 / 近畿 / 中国 / 四国 / 九州 / 沖縄): 06-6649-9340

◆ 修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (祝日、センター指定休日を除く)

※お電話は、修理ご相談センターでお受けします。

● 東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 JMT 京浜E棟A-5F

FAX 03-5762-2125

● 西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1丁目13-17 ナンバ辻本ビル7F

FAX 06-6649-9340

製品の仕様や取り扱いに関するお問い合わせ

お買い上げの販売店、または下記のお客様コミュニケーションセンターへご連絡ください。

◆ お客様コミュニケーションセンター 電子ピアノ・キーボードご相談窓口

フリーダイヤル



0120-139-808

携帯電話、IP電話からは **050-3852-4079**

受付 月曜日～金曜日 10:00～17:00

(祝日、センター指定休日を除く)

ヤマハ サポート・お問い合わせ <https://jp.yamaha.com/support/>



ヤマハ 楽器音響製品お客様サポート
LINE 公式アカウント

受付 月曜日～金曜日 10:00～16:00

(祝日、センター指定休日を除く)



ヤマハ ピアノ・電子ピアノサイト

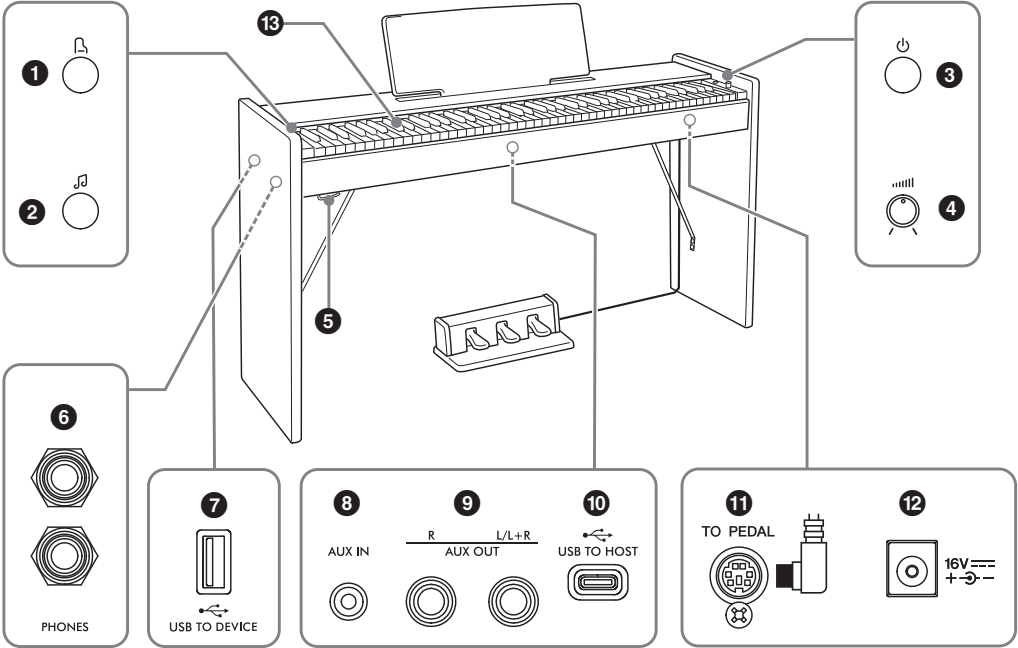
<https://jp.yamaha.com/piano/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町 10-1

* 名称、住所、電話番号、営業時間などは変更になる場合があります。

各部の名称と機能



* ⑤ ～ ⑫ は本体底面にあります。

① [L](設定) ボタン

鍵盤演奏音 (音色) を変えるなど、さまざまな設定をします。このボタンを押したまま、機能が割り当てられた鍵盤を押すと、設定が変更されます。このボタンだけを押しと、CFX グランド音色を呼び出せます。

② [D](曲) ボタン

内蔵曲や USB フラッシュメモリー内の曲を再生します。このボタンを押したまま、機能が割り当てられた鍵盤を押すと、内蔵曲など曲の再生がスタートします。このボタンだけを押しと、プレイリスト (クラシック) の先頭の曲の再生がスタートします。曲の再生中にこのボタンを押すと、再生がストップします。

③ [P](スタンバイ/オン) スイッチ

電源のスタンバイ/オンを切り替えます。

④ [V](音量) つまみ

楽器全体の音量を調節します。右に回すと音量が大きく、左に回すと音量が小さくなります。

⚠ 注意

大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

⑤ ヘッドホンハンガー

ヘッドホンを掛けます。

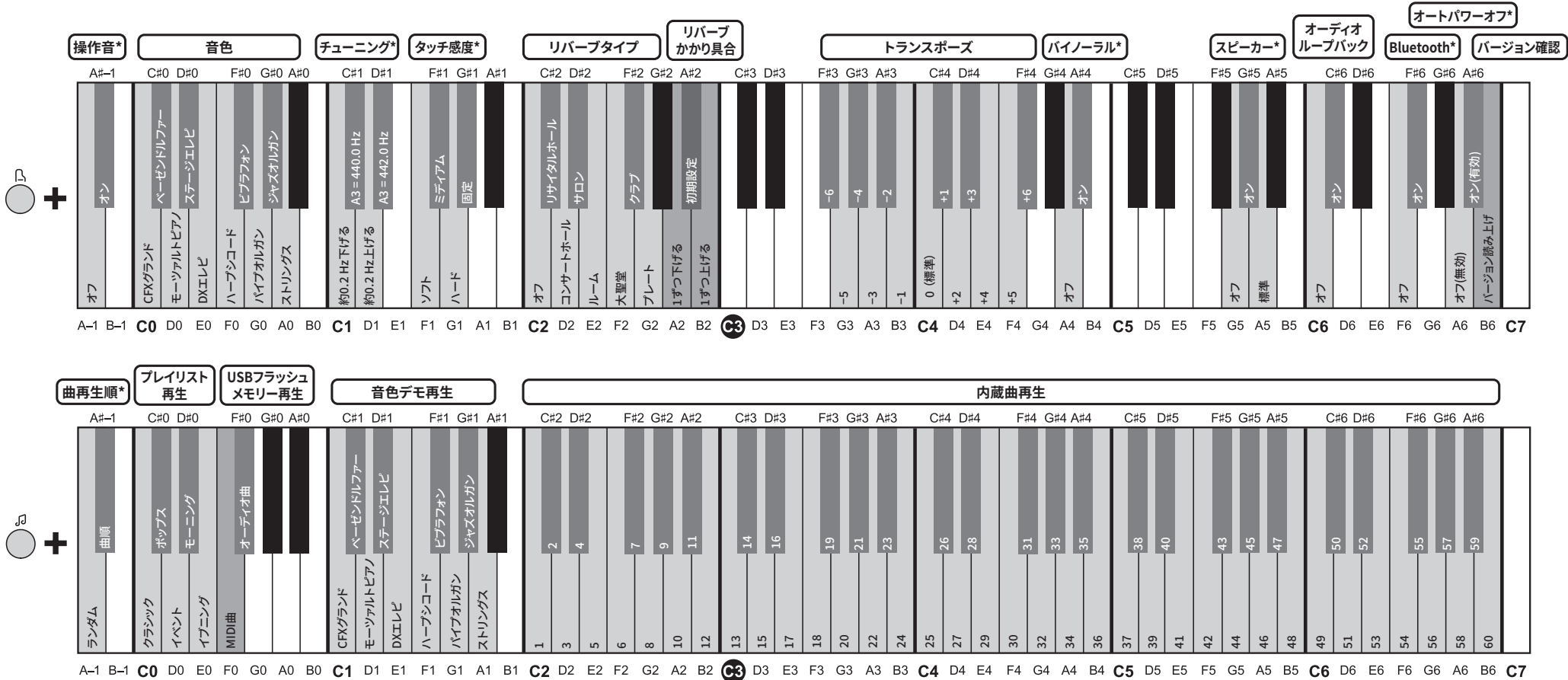
ご注意

ヘッドホンハンガーにヘッドホン以外のものを掛けしないでください。本体またはヘッドホンハンガーが破損する場合があります。

⑬ 鍵盤

通常の鍵盤として演奏するほか、楽器を操作するのに使います。[L](設定) ボタンまたは[D](曲) ボタンを押したまま、下図で示した鍵盤を押すと設定を変更したり、曲を選んだりできます。

「*」印の付いた設定は、楽器の電源を切っても保持されます。下図と内蔵曲リストを掲載した「鍵盤操作早見表」(PDF) をユーザーガイドから入手できます。



実際の鍵盤はすべて同じ色です。

この楽器で使えるスマートデバイスアプリ



アプリの詳細については、こちらのウェブサイト内、各アプリのページでご確認ください。
<https://www.yamaha.com/2/pianoapps/>

● スマートピアニスト

画面上で設定内容を確認しながら楽器を操作できます。録音したり、譜面を表示したりするなど、便利な機能を使えます。

ご注意

スマートピアニストと接続すると、楽器の設定は、スマートピアニストで設定した内容に変更されます。

● Rec'n'Share

曲に合わせて演奏したり、それを動画で撮影/録音したりできます。またそのデータをインターネット上で共有できます。

⑥ [PHONES] 端子 (ステレオ標準フォーン端子) × 2

ヘッドホンを接続します。どちらの端子を使っても構いません。ヘッドホンを2本同時に使うこともできます。ミニプラグ (3.5 mm) のヘッドホンを使う場合は、変換プラグ (3.5 mm → 6.3 mm) が必要です。

⑦ [USB TO DEVICE] 端子 (Type A 端子)

曲データのあった USB フラッシュメモリーを接続します。オーディオファイル (.wav)、MIDI ファイル (.mid) を再生できます。コンピューターなどを使って、オーディオファイルは「Audio」フォルダーに、MIDI ファイルは「MIDI」フォルダーに保存してください。

ご注意

- [USB TO DEVICE] 端子の定格は、最大 5 V/500 mA です。定格を超える USB 機器は故障の原因になるため、接続しないでください。
- USB フラッシュメモリーの抜き差しは、曲の再生中には行わないでください。楽器本体の機能が停止したり、USB フラッシュメモリーやデータが壊れたりするおそれがあります。また、抜き差しの間隔は、数秒空けてください。

⑧ [AUX IN] 端子 (ステレオミニ端子)

オーディオ接続ケーブル (ステレオミニプラグ) を使って、スマートフォンなどのオーディオ再生機器を接続します。接続した機器での再生音をこの楽器のスピーカーから鳴らせます。

ご注意

[AUX IN] 端子を使うときは、外部機器の損傷を防ぐため、外部機器→楽器の順に電源を入れてください。電源を切るときは、楽器→外部機器の順に行ってください。

⑨ AUX OUT [L/L+R][R] 端子 (モノラル標準端子)

オーディオ接続ケーブル (標準プラグ) を使って、アンプ内蔵スピーカーなどを接続します。この楽器での演奏音をその機器から鳴らせます。

ご注意

- AUX OUT 端子を使うときは、外部機器の損傷を防ぐため、楽器→外部機器の順に電源を入れてください。電源を切るときは、外部機器→楽器の順に行ってください。
- AUX OUT 端子から外部機器に出力した音を、楽器の [AUX IN] 端子に戻さないでください。楽器の [AUX IN] 端子から入力された音はそのまま AUX OUT 端子から出力されるので、オーディオ系の発振が起こり、音が正常に鳴らないだけでなく、両機器の故障の原因になります。

⑩ [USB TO HOST] 端子 (Type C 端子)

USB ケーブルを使って、スマートデバイス (スマートフォン/タブレット端末) やコンピューターを接続します。スマートデバイスアプリ (下記参照) を使ったり、コンピューターとデータをやり取りしたりできます。

ご注意

- USB ケーブルは、Type C - Type C または Type C - Type A タイプで 3 メートル未満のものをご使用ください。また、充電専用ではなく、USB 規格に準拠したデータ通信可能なケーブルをご使用ください。Lightning コネクタ搭載の機器を接続する場合は、Apple Lightning - USB カメラアダプタ (または Lightning - USB 3 カメラアダプタ) もご用意ください。
- 楽器の電源スタンバイ/オンの切り替えや USB ケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行ってください。
 - すべてのアプリを終了させる。
 - 楽器からデータが送信されていないか確認する (鍵盤を弾いたり曲を再生させたりしても、データが送信されます)。
- 楽器の電源スタンバイ/オンの切り替えや USB ケーブルの抜き差しは、6 秒以上間隔を空けて行ってください。

⑪ [TO PEDAL] 端子

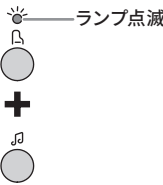
ペダルユニットを接続します (本書裏面参照)。

⑫ DC IN 端子

電源アダプターを接続します (本書裏面参照)。

Bluetooth オーディオ機能

[L](設定) ボタンと[D](曲) ボタンを同時に押し続けると、[L](設定) ボタンのランプが点滅し、ペアリングの待機状態になります。スマートフォンなどの Bluetooth 対応のオーディオ再生機器とペアリングして接続すると、接続した機器でのオーディオ再生音をこの楽器のスピーカーから鳴らせます。



初期設定に戻す

電源を切った状態で、右端 (C7) の鍵盤を押したまま電源を入れます。[L](設定) ボタンと[D](曲) ボタンのランプが点滅してから楽器が起動し、上図 (⑬) 内、「*」印の付いた設定が初期化されます。Bluetooth のペアリング情報は消去されません。